

地域包括ケアシステムの構築に向けた旭区行動指針（仮称）の策定について

1 地域包括ケアの構築に向けた行動指針策定の趣旨

「団塊の世代」と呼ばれる方々の多くが、75 歳以上の後期高齢者となる 2025 年に向けて、御高齢の方が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるために、介護、医療、介護予防、生活支援、住まいが一体的に提供される地域包括ケアシステム構築の取組を進めています。

地域包括ケアシステムは、抽象的な概念であることから、その考え方を分かりやすく示すため、横浜市は、横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた行動指針を平成 29 年 3 月に策定しました。

旭区では、市の行動指針の内容を踏まえて、平成 29 年度中に、旭区の特性に応じた区版の地域包括ケアシステムの構築に向けた行動指針を策定します。

2 指針の内容（案）

	市版指針	区版指針（案）
考え方	本市の地域包括ケアの目指すべき姿を具体化し、分野別の中長期的な戦略を示す	日常生活圏域ごとの特性や課題を踏まえ、各区ごとの中長期的な戦略を示す
内容	<ul style="list-style-type: none">・目指す将来像と実現するための重点方針・分野別（※）のあるべき姿、実現に向けた方向性、取組 ※「介護」、「医療」、「介護予防」、「生活支援」、「施設・住まい」の 5 分野	<ul style="list-style-type: none">・地域包括ケアの実現に向けた区の方針・重点取組（介護予防、多様な主体による生活支援の充実、在宅医療・介護連携等）
期間	2025（平成 37）年度まで	

3 今後の策定スケジュール（予定）

6 月	指針策定作業スタート
11～12 月	中間案作成 ※関係機関等に意見を聴取 第 7 期横浜市高齢者福祉保健計画・介護保険事業計画区民説明会において、指針についても御説明
30 年 3 月	指針策定

<裏面・参考資料あり>

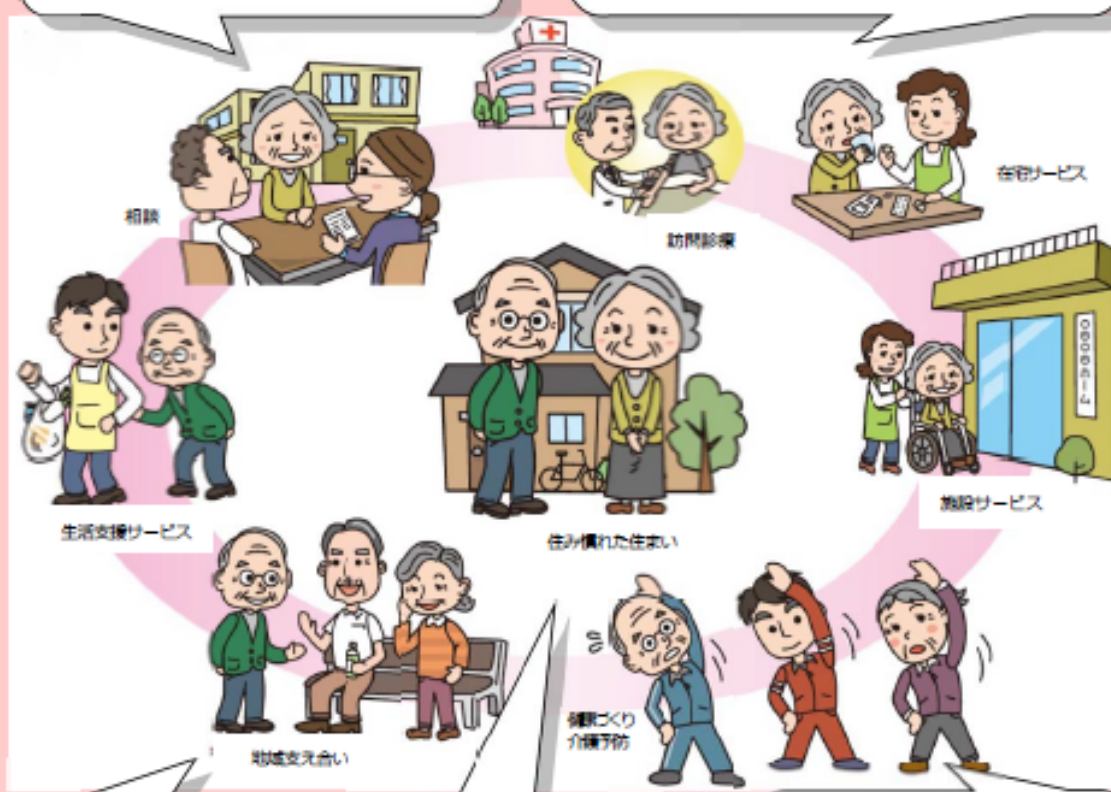
担当 旭区高齢・障害支援課
地域包括ケア推進担当 橋本
電話 045-954-6079

【2025年（平成37年）の姿～団塊の世代が75歳以上～】

高齢者一人ひとりが、どのような心身の状態であっても、可能な限り住み慣れた地域で、尊厳を保ち、自分らしい日常生活を人生の最後まで営んでいます。

身近な場所に相談窓口があり、自分に合った必要なサービスや支援（生活支援、見守り）を受けています。

介護が必要になっても、医療を含めた様々なサービスを利用しながら、24時間、365日、安心して快適な生活を送れる環境づくりが進んでいます。



社会の担い手として、地域の中で互いに助け合い、支え合っています。

今までの知識や経験を生かして、生きがいを持った生活を送っています。

健康は自らつくるもの。健やかで充実した生涯を送れるように、健康づくり、介護予防に取り組んでいます。